

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【 施策名：Ⅱ 計画・設計・施工の最適化 【1】 計画・設計の見直し 施策8 】

既設ライニング水路改築方法の見直し

工事名：豊川用水二期東部幹線水路二川第一開水路他改築工事 他

概要：（従来）全面改築（既設ライニング取り壊し＋ライニング新設）

⇒（新）部分改築（非破壊検査等により劣化原因を推定し、部分的な改築、補修）

効果 ○全面改築方式から既設ライニングの劣化の程度により補修方法を検討し工事コスト構造の改善を図る。

○部分的な改築、補修とすることで施工期間の短縮を図る。

■ 施工費を、315百万円から86百万円に改善。

（改善額 229百万円、改善率 約73%）

（劣化状況）



ライニングの変状(クラック)状況

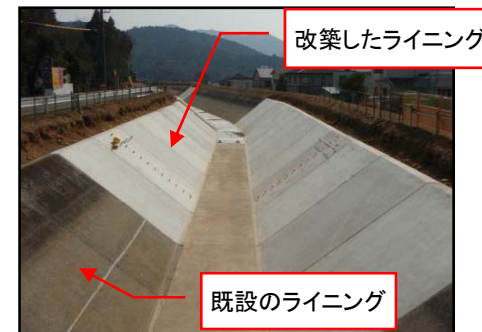


（劣化状況調査）



ライニング背面の地中レーダー探査による空洞調査

（改築状況）



改築したライニング

既設のライニング

ライニングの状態に応じて部分的なライニングの改築や断面補修等で改築